

教育・保育及び子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

資料 1

令和6年度8月23日こども政策課作成

1 教育・保育の提供体制

(1) 教育・保育の量の確保

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1号認定(3～5歳)	見込量(人)	計画値	1,620	1,524	1,433	1,095	1,056	991	968	955	942	929
		実績値	1,490	1,336	1,218	1,105	1,035					
	確保量(人) (利用定員数)	計画値	1,902	1,902	1,902	1,490	1,490	1,425	1,425	1,425	1,425	1,425
		実績値	2,212	1,552	1,490	1,490	1,450					
2号認定(3～5歳)	見込量(人)	計画値	1,568	1,575	1,544	1,479	1,479	1,478	1,474	1,469	1,466	1,461
		実績値	1,591	1,556	1,505	1,471	1,520					
	確保量(人) (利用定員数)	計画値	1,476	1,476	1,484	1,503	1,503	1,510	1,510	1,510	1,510	1,510
		実績値	1,476	1,467	1,503	1,483	1,480					
3号認定(0歳)	見込量(人)	計画値	130	136	141	146	144	106	105	105	104	103
		実績値	119	120	132	102	94					
	確保量(人) (利用定員数)	計画値	253	253	253	265	265	261	261	261	261	261
		実績値	253	260	265	259	257					
3号認定(1～2歳)	見込量(人)	計画値	862	861	873	886	895	886	888	890	892	894
		実績値	886	810	825	896	854					
	確保量(人) (利用定員数)	計画値	834	843	850	849	849	856	856	856	856	856
		実績値	834	835	849	844	840					
保育利用率(%) (※)			40.0	42.4	44.4	45.6	47.9	48.2	48.5	48.9	49.2	49.5
0～2歳人口(人)			2,720	2,580	2,508	2,421	2,291	2,316	2,302	2,286	2,272	2,257

※満3歳未満の子どもの数全体に占める3号認定子どもの利用定員数の割合

【現状・課題】

・1号認定の子どもに対する利用定員は、量の見込みを既に充足しています。児童数の動向や保護者ニーズの変化等を踏まえ、今後の社会情勢に即した体制にしていく必要があります。
 ・少子化が進む中、女性の社会進出の増加等に伴い、人口に対する保育需要は増加している一方で、教育利用である1号認定については、年々、減少しています。そのため、保育定員は、現状を維持するとともに、1号定員については、必要に応じて、定員減を検討していきます。

【確保方策・方向性】

量の見込みを充足している教育利用については、各施設の利用実態に即した利用定員となるよう見直しを図るとともに、今後の児童数の動向や保護者の利用希望等を踏まえ、多様なニーズを市内で充足できるよう、公立施設のあり方の方向性について検討するとともに、必要に応じて施設の最適化を図っていきます。
 一方で、保育利用については、ニーズを見据えた定員の確保に努めるとともに、令和7年度に新たな公私連携幼保連携型認定こども園を開園することで、待機児童だけではなく、保留児童の解消を図ります。

【見込量の設定の考え方】

厚生労働省が令和3年に公表した「保育を取り巻く状況について」では、保育児童数は、令和7年度をピークとし、その後、緩やかに減少していくとされています。本市においても、多様な働き方による共働き世帯の増加を見込んでおり保育所等の利用率は、微増すると考えおりますが、人口減少に伴い、保育児童数は、令和7年度以降は緩やかに減少すると見込んでいます。
 また、1号認定については、過去の動向から、毎年減少傾向として見込んでいます。

(2) 教育・保育の質の向上

【現状・課題】

昨今の保育所等における子どもをめぐる事故や不適切な保育事案等により、全国的にも教育・保育の質の向上が求められています。このような中、国のこども未来戦略においても、3歳から5歳児までの保育に必要な保育士の配置基準が改正されましたが、本市ではさらに1歳児の保育士配置を4対1とすることを可能とする補助基準の見直しを行い、安全・安心な保育が進められるよう取り組んでいます。

その一方で、手厚い保育士配置を行うための保育士確保が喫緊の課題となっています。

【確保方策・方向性】

・乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であることを踏まえ、公私・園種の枠を超えて、質の向上に係る意見交換の場を継続的に持つとともに、保育士確保に向けた取組を進め、教育・保育の質の向上を図っていきます。

・公私・幼保にかかわらず、各施設間や小学校・中学校との連携をより一層強化し、全ての子どもに質の高い教育・保育を実施するとともに、家庭、地域、関係機関との連携により、多様な経験による学びの機会の提供に努めます。

また、特別な支援が必要な子どもの教育・保育に関して、円滑な受入れを行えるよう、受入れ枠の把握を行うとともに、十分な研修を行い、体制の充実を図ります。

2 地域子ども・子育て支援事業

(1) 利用者支援事業(保育コンシェルジュ)

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	箇所	計画値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	箇所	実績値	1	1	1	1	1					
確保量	箇所	計画値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	箇所	実績値	1	1	1	1	1					

【現状・課題】

子育て家庭からニーズの多い、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等に関して、きめ細やかな情報提供や相談・助言を実施するため、相談員(保育コンシェルジュ)を保育こども園課に配置しています。

【確保方策・方向性】

引き続き、保育を希望する保護者の相談に応じ、個別のニーズに合った保育サービスの情報提供に努めるとともに、母子保健コーディネーターと連携し、情報を共有することで、子ども・子育てに関するあらゆる相談に応えることが可能な窓口として、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行っていきます。

【見込量の設定の考え方】

利用者支援事業(保育コンシェルジュ)では、情報提供や相談の窓口として、1か所確保しましたが、今までの利用実績を踏まえ、現状維持とします。

利用者支援事業(こども家庭センター)

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	箇所	計画値						1	1	1	1	1
	箇所	実績値					1					
確保量	箇所	計画値						1	1	1	1	1
	箇所	実績値					1					

【現状・課題】

従来より「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」がこども家庭支援課に設置されていたことから、その体制を維持したまま、令和6年4月にこども家庭センターを開設しました。こども家庭センターで行う合同ケース会議の開催、サポートプランの作成等の新たな取組の準備を開始しています。これらの取組の充実及び地域資源の把握・開拓、関係機関との連携強化に向けた体制整備の検討が必要です。

【確保方策・方向性】

母子保健機能と児童福祉機能が一体的な組織となり、子育て家庭に対する相談支援を実施できる状況を整えています。
今後、妊産婦及び乳幼児の健康保持増進に関する支援と、子どもとその家庭(妊産婦を含む。)の福祉に関する支援を切れ目なく、漏れなく提供できるよう、合同ケース会議やサポートプランを実施し、相談体制の充実を図ります。
また、庁内関係各課や関係機関と調整を図り、地域資源の開拓や新たな機関との連携に努めていきます。

【見込量の設定の考え方】

1か所設置しましたが、今までの利用実績を踏まえ、現状維持とします。

利用者支援事業(地域子育て相談機関)

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	箇所	計画値						1	3	5	7	9
	箇所	実績値										
確保量	箇所	計画値						1	3	5	7	9
	箇所	実績値										

【現状・課題】

令和6年4月にこども家庭センターを設置しましたが、子育て家庭の中には、行政機関であるこども家庭センターに直接相談しにくいと感じる家庭もあり得ることから、身近な相談機関が、こども家庭センターを補完することが期待されています。

【確保方策・方向性】

地域子育て相談機関の設置を進め、敷居が低い身近な場所で子育て家庭との接点を増やすことにより、子育て世帯の不安解消や状況把握の機会の増加を図ります。

【見込み量設定に当たって】

国が定める地域子育て相談機関運営要綱に基づき、中学校区(9学校区)に1か所を目安に計画値を設定しましたが、新規事業のため、利用者ニーズや実績を踏まえながら、適宜見直しを図ります。

(2) 地域子育て支援拠点事業(ぼけっと21等)

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人日	計画値	43,800	49,390	49,440	49,490	49,520	27,689	27,508	27,321	27,153	26,972
	人日	実績値	16,061	24,607	28,162	28,768	27,528					
確保量	箇所	計画値	8	9	9	9	9	10	10	10	10	10
	箇所	実績値	8	10	10	10	10					

【現状・課題】

市内10か所の「ぼけっと21」等では、就園前の子どもとその保護者が、気軽に集い、交流を図ることで、情報交換や気分転換、育児の悩みや疲れを緩和することができています。また、常駐の子育て支援アドバイザーのきめ細かい気遣いにより、気軽に相談ができる場となっています。より多くの保護者に活用していただけるよう、事業の周知が必要です。

【確保方策・方向性】

引き続き、交流の場を提供し、子育てに関する不安や負担感の緩和、社会的孤立の解消を図るとともに、より多くの保護者が利用しやすい環境整備に取り組みます。

【見込量の設定の考え方】

将来推計人口を踏まえ、実績値をもとに量の見込みを設定しました。

【第2期計画値と第3期計画値との差の理由について】

第2期計画の見込量は平成30年度までの実績値に基づき算出されていますが、令和元年以降、共働きの増加に伴う保育利用率の増加等の影響により、利用者が伸びなかったため、実績値と計画値が大きく乖離しています。第3期計画値は令和5年度までの実績値をもとに算出しているため、第2期計画値よりも少ない見込量となっています。

(3) 妊婦健診事業

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	回	計画値	10,345	10,120	9,895	9,036	8,760	8,747	8,735	8,735	8,699	8,699
	回	実績値	9,833	9,088	8,336	8,483	8,770					

【現状・課題】

妊娠届出の際、妊婦健康診査費用補助券を交付して、専門職(助産師等)が面談等で受診勧奨を行っています。特に、予期せぬ妊娠や経済的困窮、社会的孤立、DVなどの背景から、妊婦健診の未受診・中断にならないよう、切れ目のない支援が必要です。

【確保方策・方向性】

妊婦健康診査を定期的に受診して、必要な支援を受けられるよう、医療機関と連携し、妊婦支援の充実を図ります。また、医療機関の妊婦健康診査費用の実状に合わせた費用助成について検討していきます。

【見込量の設定の考え方】

将来推計人口を踏まえ、実績値をもとに量の見込みを設定しました。

(4) 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人	計画値	923	899	878	753	730	727	724	723	723	720
	人	実績値	811	751	708	682	730					
実施体制	人	計画値	40	40	40	40	40	35	35	35	35	35
	人	実績値	40	38	35	35	35					

【現状・課題】

こんにちは赤ちゃん訪問員による訪問と妊産婦及び新生児家庭訪問事業を実施しています。希望しない、あるいは不在等で未訪問の家庭があるため、未訪問家庭の減少に努める必要があります。

【確保方策・方向性】

事業の周知徹底を図るとともに、事前電話の対応や訪問時間を調整することで、全戸訪問に努めます。
また、乳児家庭の保護者が安心して育児ができる支援のため、こんにちは赤ちゃん訪問員に対し、情報提供や研修の機会を確保していきます。

【見込量の設定の考え方】

将来推計人口を踏まえ、実績値をもとに量の見込みを設定しました。

(5) 養育支援訪問事業

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人	計画値	40	40	40	40	40	100	100	105	110	115
	人	実績値	50	58	84	97	100					
実施体制	人	計画値	6	6	6	6	6	7	7	8	8	9
	人	実績値	6	6	6	6	6					

【現状・課題】

支援が必要な家庭を訪問し、家庭の状況に合わせたより適切な養育の確保ができました。支援の必要性があるが、サービスの利用を希望しない家庭への対応に課題があります。

【確保方策・方向性】

妊娠期からのきめ細かな対応・事業内容の説明により、専門的支援が必要な家庭が支援を受けやすい体制を整備します。
また、訪問による支援目標を関係機関と確認し、必要時の情報共有を行いながら実施していきます。

【見込量の設定の考え方】

養育支援訪問事業(専門的支援)の実績値を参考に量の見込みを設定しました。

【第2期計画値と第3期計画値との差の理由について】

個別・継続的な専門的支援が必要となる家庭が増えているため、実績値を参考に量の見込みを設定しました。

(6) 子育て短期支援事業(ショートステイ事業、トワイライトステイ事業)

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人日	計画値	357	343	328	316	305	288	280	272	265	257
	人日	実績値	0	0	0	0	0					
確保量	人日	計画値	90	365	365	0	365	0	365	365	366	365
	人日	実績値	0	0	0	0	0					

【現状・課題】

現在、市内に児童養護施設等がないことから実施していませんが、利用希望はあるため、実施する必要があります。

【確保方策・方向性】

市内には児童養護施設等がないため、近隣市町の広域利用が可能な施設での受入れを検討するとともに、里親等の活用など実施に向けた検討を進めます。

【見込量の設定の考え方】

第2期計画、事前調査結果及び将来人口推計をもとに量の見込みを設定しました。

(7) 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人日	計画値	8,684	8,634	8,640	8,056	7,797	5,491	5,364	5,235	5,110	4,982
	人日	実績値	3,434	4,886	4,967	6,070	5,857					
確保量	人日	計画値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	人日	実績値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000					

【現状・課題】

地域の支援員が連携して子育て支援を行う事業として定着していますが、相互援助で成り立つ事業であるため、支援会員の安定した確保が必要です。

【確保方策・方向性】

多様化する保育ニーズに対応できるよう取り組んでいくとともに、制度の内容を知らない保護者も多くいるため、より効果的な周知方法を検討し、依頼会員、支援会員双方の登録の増員に努めます。

【見込量の設定の考え方】

将来推計人口を踏まえ、実績値をもとに量の見込みを設定しました。

【第2期計画値と第3期計画値との差の理由について】

第2期計画の見込量は平成30年度までの実績値をもとに算出されていますが、令和元年以降、新型コロナウイルスの影響等で利用者が大きく減少したため、計画値と実績値が乖離しています。第3期計画の見込量は令和5年度までの実績値をもとに算出したため、第2期計画値から減少しています。支援会員の登録数は横ばいですが、稼働可能人数が増加したため、確保量が増加しています。

(8)一時預かり事業

① 幼稚園預かり保育

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人日	計画値	18,027	16,786	15,523	14,945	14,688	15,839	15,750	15,661	15,571	15,482
	人日	実績値	11,773	15,552	16,306	18,315	16,121					
確保量	人日	計画値	68,040	67,760	67,760	67,960	67,960	77,520	77,520	77,760	77,640	77,880
	人日	実績値	67,600	67,920	71,640	72,500	72,920					

【現状・課題】

幼稚園及び認定こども園の在園児を対象として、通常の教育時間の終了後や長期休業中等に、保護者の要請に応じて実施しています。

【確保方策・方向性】

保護者の就労や疾病のほか、リフレッシュ、園児同士の交流等、多様化するニーズへの対応を行います。

【見込量の設定の考え方】

実績値をもとに量の見込みを設定しました。

【第2期計画値と第3期計画値との差の理由について】

令和2年度及び令和3年度の見込量は、新型コロナウイルスの影響により、計画値と実績値に大きな乖離が発生したと推測されます。また、令和4年度以降は、女性の社会進出や多様な働き方等により、利用が大きく増加したと推測され、第2期計画値を上回る実績となっていたため、実績値をもとに第3期計画値を設定しました。
なお、第3期計画の確保量は、令和7年度に新たに開園するペコちゃんこども園等を加え、増加しました。

② 一時預かり事業(保育所等)

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人日	計画値	7,806	7,806	7,806	7,806	7,806	4,560	4,560	4,560	4,560	4,560
	人日	実績値	2,624	4,109	4,243	4,078	4,170					
確保量	人日	計画値	7,806	7,806	7,806	7,806	7,806	4,560	4,560	4,560	4,560	4,560
	人日	実績値	7,806	7,806	7,806	7,806	7,806					

【現状・課題】

パートタイム就労及びリフレッシュなどの理由により利用が増加している状況において、安定した確保に努める必要があります。

【確保方策・方向性】

利用定員を上回る弾力的運用を行うことにより、多様化するニーズへの対応を行います。

【見込量の設定の考え方】

実績値をもとに量の見込みを設定しました。

【第2期計画値と第3期計画値との差の理由について】

第2期計画については、令和元年度の実績に基づき見込量及び確保量の計画値を算出しましたが、保育士不足等により受入れ態勢が整わず、受入れの実績値は大きく計画値を下回りました。第3期計画では、令和6年度の実績値に令和7年度に新たに開園するペコちゃんこども園の計画値を加えて算出しましたが、結果として第2期計画との乖離が生じました。

(9) 延長保育事業

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人	計画値	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	13,370	13,370	13,370	13,370	13,370
	人	実績値	17,667	18,753	16,104	13,041	13,050					
実施施設	箇所	計画値	32	32	32	32	32	35	35	35	35	35
	箇所	実績値	32	32	34	34	34					

【現状・課題】

保護者の多様な就労形態に対応するため、家庭的保育事業を除く全ての認定こども園、保育所及び小規模保育事業で延長保育を実施しています。

【確保方策・方向性】

引き続き、通常の保育時間を超える保育を希望する保護者に対応できるよう、延長保育を実施する施設を支援します。

【見込量の設定の考え方】

実績値をもとに量の見込みを設定しました。

【第2期計画値と第3期計画値との差の理由について】

少子化に伴う企業等の取組により、育児環境が改善され、利用が減少したことで、見込量の第2期計画値と実績値に乖離が生じたと推測されます。第3期は実績値に則した計画値としたため、差が生じました。

(10) 病児・病後児保育事業

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人	計画値	144	163	184	208	235	150	150	150	150	150
	人	実績値	3	45	35	65	120					
確保量	人	計画値	729	729	729	732	729	726	723	729	726	735
	人	実績値	729	723	729	729	729					

【現状・課題】

病気の回復期にある子どもを保育する病後児保育事業については、平成26年10月から市立ひろはたこども園内の「おひさまルーム」において、生後4か月から小学3年生までの子どもを対象に、看護師及び保育士が付き添い、専用の保育室で実施しています。平成30年4月からは、中井町との地域利用を開始しました。

病気の子どもを保育する病児保育事業については、本市では実施していませんが、利用希望はあるため、実施する必要があります。

【確保方策・方向性】

ニーズ調査の結果を踏まえながら、病児・病後児保育の民間事業者による実施を検討していきます。

【見込量の設定の考え方】

実績値をもとに量の見込みを設定しました。

【第2期計画値と第3期計画値との差の理由について】

令和2年度の見込量については、新型コロナウイルスの影響により、計画と実績に大きな乖離が発生したと推測されます。また、令和3年度以降は、少子化に伴う企業等の取組により、育児環境が改善され、利用が減少したことで、第2期計画の見込量と実績値に乖離が生じたと推測されます。第3期計画の見込量は実績に則した計画値としたため、差が生じました。

(11)放課後児童健全育成事業												
区分	単位		第2期計画期間					第3期計画期間				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量(登録児童数)	人	計画値	1,550	1,607	1,695	1,622	1,637	1,678	1,664	1,609	1,548	1,492
		実績値	1,486	1,558	1,528	1,644	1,644					
	1年生	計画値	413	451	497	447	459	440	431	402	383	373
		実績値	437	482	460	443	443					
	2年生	計画値	413	400	437	430	418	415	412	403	376	358
		実績値	416	420	437	413	413					
	3年生	計画値	336	351	340	349	343	343	344	342	334	312
		実績値	337	329	332	370	370					
	4年生	計画値	228	236	246	233	245	259	240	241	240	234
		実績値	244	248	227	273	273					
	5年生	計画値	110	114	118	113	116	138	131	121	122	121
		実績値	33	47	46	108	108					
	6年生	計画値	50	55	57	50	56	83	106	100	93	94
		実績値	19	32	26	37	37					
定員数※	人	計画値	1,455	1,455	1,455	1,699	1,699	1,701	1,701	1,701	1,701	1,701
	人	実績値	1,404	1,560	1,598	1,651	1,691					
実施場所	箇所	計画値	45	45	45	51	51	52	52	52	52	52
	箇所	実績値	45	46	48	48	50					

※ 民間学童保育を含む

【現状・課題】 市内の全小学校 13 校内で 30 の児童ホーム(対象:小学6年生まで)を運営するとともに、民間7事業者20教室(対象:小学6年生まで)に対し、支援を実施しています。 【確保方策・方向性】 ・保護者のニーズに対応できるよう、また、今後も安定した受入れに向けて環境整備に取り組みます。 ・特別な配慮を必要とする児童に対しては、可能な限り加配対応により支援していきます。 ・開室時間については、午後7時まで、また、土曜日及び長期休暇中の朝は午前8時からの拡大を引き続き実施していきます。 ・子どもの主体性を尊重し、健全な育成を図るため、放課後児童支援員の資質向上に努めます。 ・児童ホームの育成支援の内容については、各児童ホームの保護者会等で説明するとともに、新入学児童に対しては、認定こども園、幼稚園及び保育所等でパンフレットを配布します。 ・民間事業者に対する支援を引き続き実施していきます。 【見込量の設定の考え方】 教育・保育の量の見込み、実績値等を総合的に勘案し、量の見込みを設定しましたが、過去の実績から、1日当たりの利用者数は、登録児童数の7割程度となるため、計画の定員数をもって確保することが可能です。

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

【現状・課題】

保護者の世帯所得の状況等に応じて、保護者が支払う給食費のうち副食費を助成しています。

【確保方策・方向性】

低所得世帯等の負担を軽減するため、継続して実施します。

(13) 子育て世帯訪問支援事業

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人日	計画値						50	60	60	70	70
	人日	実績値										
確保量	人日	計画値						70	70	70	70	70
	人日	実績値										

【現状・課題】

令和6年4月から開始。養育支援訪問支援事業で行っていた家事・育児支援を本事業で行うとともに、ヤングケアラーへの必要な支援を行います。対象者が拡大されたことや支援内容が多岐にわたるため、対応できる事業者の開拓が必要です。

また、支援が特に必要な家庭を早期に把握し、利用に努める必要があります。

【確保方策・方向性】

家事育児の不安を抱える子育て家庭等で、継続して養育に関する支援が必要と判断した家庭を訪問し、適切な養育の支援ができるよう、事業者と調整を行い、支援体制の充実を図ります。

【見込量の設定の考え方】

新規事業のため、令和5年度まで実施していた養育支援訪問事業(育児家事支援)の実績値を参考に量の見込みを設定しました。

(14) 親子関係形成支援事業

(14) 統計国際形成支援事業												
区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人	計画値						12	12	12	12	12
	人	実績値										
確保量	人	計画値						12	12	12	12	12
	人	実績値										

【現状・課題】

市主催の楽しい子育て講座は、18歳未満の子どもがいる家庭を対象に単発講座のほか、連続講座を実施しています。
また、対象者は特に支援が必要な家庭とされていますが、安定した講座運営が図れるよう、広く保護者に周知し、参加者を募る必要があります。

【確保方策・方向性】

園や学校等へのチラシ配布、広報誌等を通して、広く事業の周知を図るとともに、特に支援が必要と思われる保護者には個別に声をかけて参加を促すなど、子育てに対する悩みや不安の軽減に努めます。

【見込量の設定の考え方】

令和5年度及び令和6年度の連続講座の実績をもとに、量の見込みを設定しました。

(15) 児童育成支援拠点事業

(19)児童育成支援施設事業

区分	単位		第2期計画期間(実績)					第3期計画期間(見込み)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
見込量	人	計画値										
	人	実績値										
確保量	人	計画値										
	人	実績値										

【現状・課題】

市民団体等が主体となり、子ども食堂や学習支援といった「子どもの居場所づくり」の活動が市内各地で取り組まれています。

【確保方策・方向性】

子どもの居場所づくりに取り組む市民団体等との連携・協働を強化することで、養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童への支援の充実に努めるとともに、市民団体等が継続的に活動できるよう、その活動を支援していきます。行政を主体とする事業の実施については、引き続き今後のニーズを把握し、検討していきます。